

市全体にしっかり水をとどけるために、どのような工夫がされているのでしょうか。

すべての家に水をとどけるのは、とても大変だね。



高柳浄水場



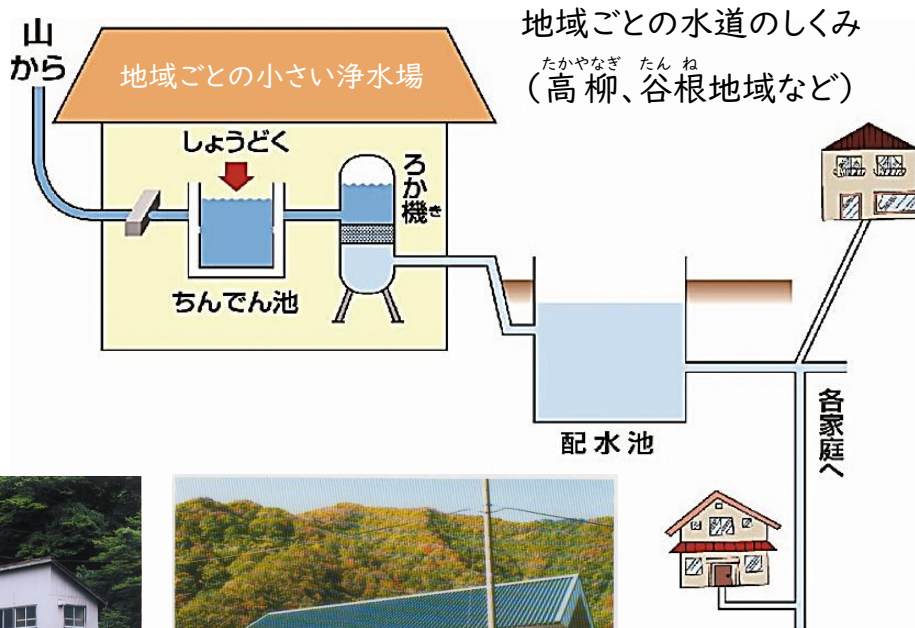
谷根浄水場



水道メーター

#### ④ 安定して水をとどけるために：上水道

赤坂山浄水場から上水道がひきにくい地域では、それぞれの地域ごとに地下水などを水源とした水道がつけられています。

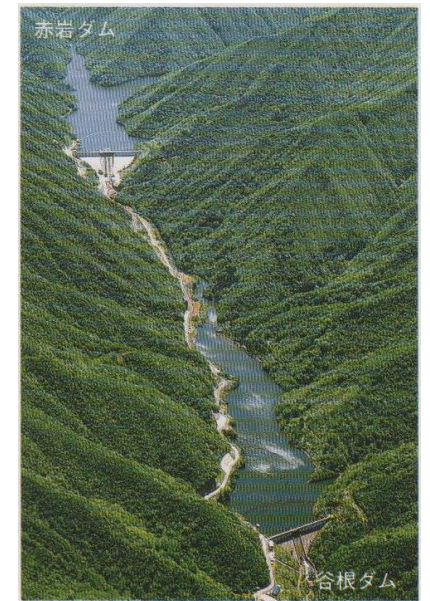


地域ごとの水道のしくみ  
(高柳、谷根地域など)

#### <水をしっかり集める>

全国的に見て、柏崎市と同じような大きさの市町村で、ダムの利用目的が上水道せん用で、しかも、3つもあるのはたいへんめずらしいことです。ですから、水が不足する心配がほとんどありません。「安心な柏崎の水道」といえます。

ダムをつくるために努力した当時の町長の西巻進四郎の話は、105ページにのっています。



#### <水源の森を守る>

赤岩ダム・谷根ダムに水を集める区域は、すべて柏崎市の市有地になっています。開発に利用されたり、よごれたものが入りこんだりする心配が全くありません。水源の森からすでに「安全な柏崎の水道」といえます。

市有地とは、市がお金を出して買った土地のことです。

#### <水をけんさする>

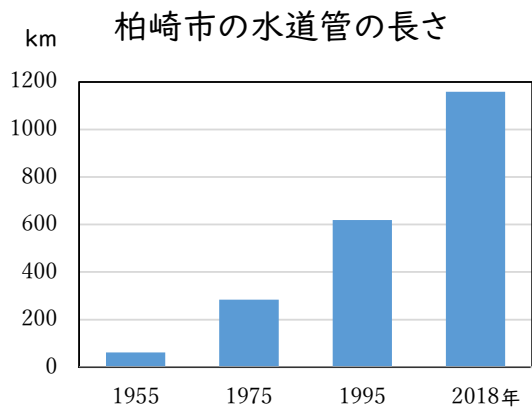
赤坂山浄水場では、職員がしっかりと水のけんさをしています。よごれなどがまざっていない、安全な水をとどけるようにとても注意しています。



たくさんの方の力で、柏崎はおいしい水が飲めるんだね。そんな水をむだにしないように、自分たちにもできることはないかな。

#### <水をむだにせず大切に使うために>

水をむだにしないために、どんな工夫をしているか、また、自分はどんなことをしていきたいか書きましょう。



(柏崎市上下水道局)

#### 上下水道局の人の話

柏崎市の水道管は、全部合わせると1100km以上の長さがあります。きちんと水がとどくように、古くなった水道管を順番に取りかえたり、水がもれていないかけんさしたりしています。

柏崎の水道は、長い歴史があるので、古い水道管もまだあります。そのような水道管は、取りかえるのにたくさんのお金がかかってしまいますが、できるだけ早く交かんでるように努力しています。

